



5. 校務の ICT 化・センター的機能

テレビ会議システムによる交流

～教科領域名：特別活動～

担外

1 活用する ICT 機器等

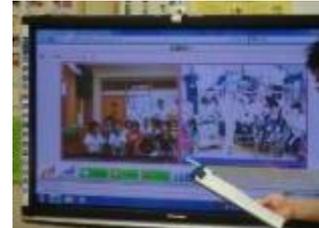
コンピュータ、デジタルテレビ、ウェブカメラ、テレビ会議システム

2 ねらい

- ・わずかの環境設定で、交流及び共同学習の機会を設けることができる。
- ・インターネットを利用することで、遠隔地の児童同士がやりとりすることができることを知る。

3 実践

- 4月17日（木） 美園小と打ち合わせ（特別支援教育 Co、ICT 教育推進 Co）
- 6月11日（水） 美園小と打ち合わせ・方針・対象の決定（ICT 教育推進 Co）
- ※本校：小学部中学年ブロック、美園小：特別支援学級（にじいろ学級）
- 1 学期中 スライドの交換による双方の自己紹介（特別支援教育 Co・小中ブロック）
- 8月25日（月） 美園小～さくら草特別支援学校 中継試験
- 9月26日（金） 第1回ネット交流「インターネットで友だちになろう」
- 10月24日（金） 第2回ネット交流「美園小運動会を報告しよう」
- 11月27日（木） 美園小との打ち合わせ（特別支援教育 Co、ICT 教育推進 Co）
- ・直接交流について
- 11月28日（金） 第3回ネット交流「さくら草文化祭を報告しよう」
- 12月 9日（火） 第4回ネット交流「まとめをしよう」
- 12月16日（火） 学校間交流（美園小）
- ・各回およそ10分ずつ程度の交流。
 - ・12月の学校間交流では、美園小3年4組が実施。



4 成果と課題

- ・双方向テレビ電話型の ICT を活用することで、交流の機会を増やすことができた。
- ・交流を行う上で、双方の興味関心を高める学習となった。
- ・音声十分に聞き取りにくいという技術的課題が明確になった。